



富士見台団地の生活污水を処理している富士見台下水処理場は、昭和53年ごろからスカム（泡状のカス）が発生し、処理機能に大きな影響を与えています。

スカム発生の原因は、合成洗剤ではないかと考えられ、市は、富士見台処理区内の家庭に粉石けんを配りスカムを取除くテストをしますが、その結果が注目されます。

富士見台団地で粉石けんによる実験

富士見台下水処理場には、1日平均1900立方メートルの汚水が流れてきます。

当初、汚水の流入が、朝と夕方に集中し、時間帯により変動が激しいこともスカムの発生と、処理能力低下の原因ではないかと見られ、処理場の構造機能を一部改良しましたが、依然として消えません。

そこで今回は、スカム解消の好結果を得た三島市光ヶ丘団地の例を参考に、富士見台団地の1699世帯に、9月1日から4ヵ月間粉石けんを無料配布して、現況と、粉石けん使用

中との比較調査を行うことにしました。

市は、粉石けん配布と同時にアンケート調査や追せき調査を今年度末まで行い、実験の結果、スカムが消えれば合成洗剤追放運動をバックアップしていきます。



(処理場技師の安田千利さん)

スカムの発生原因がわからないし、これが流出すると水質汚濁につながるの、シャワーで洗い止め、バキュームで吸い取っています。今度の実験でスカムが消えてほしいですね。



下水処理場の能率が低下

合成洗剤か？

スカム発生の原因は



実印と認印

【こえ】実印と認印の違いと印鑑登録をする印は、どのような印を使用したらよいか教えてください。

(久沢Kさん)

【こたえ】実印は、市町村長に届けで必要なとき、印鑑証明を求められることができる印。認印は個人の印で実印以外の印で重要でない事柄に使われるものです。

比較的年輩者は、実印を大事にする考え方が強く、専門の印鑑店に頼み氏・名を入れた手彫りの印を登録する人が多いが、最近では、自動車の購入などにも使われますのでややもす

ると安易になり、認印的な印を登録する人があります。実印は財産的な問題も多分に含まれていますし、市でも皆様の財産を守る立場で慎重に厳格に対処していますので、氏、または名前だけでも登録できますが、安易な考え方は改めていただきたいと願っています。

印の大きさは、8mm以上、25mm以下のもの。手続きは市民課窓口でしてください。(市民課)